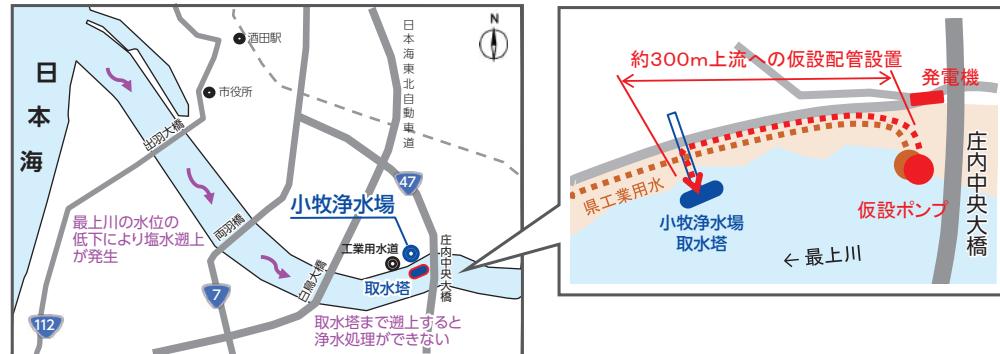


## 小牧浄水場の塩水遡上対策について

### これまでの塩水遡上対策

平成30年の塩水遡上による給水制限を受け、令和元年度に山形県企業局と協定を結び、小牧浄水場の取水塔の上流に仮設取水ポンプを設置し、対策を講じてきました。しかし、塩水がその設置地点まで遡上した場合、この措置だけでは対応できないという課題が残っていました。



### 新たな塩水遡上対策

今年度から、小牧浄水場でかつて水源として使用していた旧取水井(井戸)を改良し、取水量を少しでも確保できるようにしました。最上川からの取水が困難となった際には、井戸水に適した浄水工程へ切り替える体制を整えました。

今回の塩水遡上では、早速その対策が機能し、7月30日から8月6日の間、最上川からの取水を停止して旧取水井へ切り替えました。しかし、河川に比べて取水量が不足するため、平田浄水場(田沢川ダム)からの受水量を平常時よりも増やすなければならず、万能ではありません。今後も塩水遡上を監視し、安全で安定した水道水の供給に努めてまいります。

### 浄水フロー

#### ●通常時



#### ●緊急時(塩水遡上時)



改良した  
旧取水井の状況▶

上下水道料金のお支払い、水道の使用開始・中止、名義変更、受益者負担金、合併処理浄化槽分担金、その他上下水道に関するお問い合わせは…

**酒田市上下水道お客様センター**  
tel. 0234-22-1811 / fax. 0234-22-3160

お支払い等の  
窓口営業時間  
【平日】  
8:30~17:15

お客さまとともに、  
未来につなぐ酒田の水道

# みんなの水さかた

2025  
秋  
No. 50

編集・発行 ●酒田市上下水道部 酒田市末広町14-14 tel.0234-22-1812

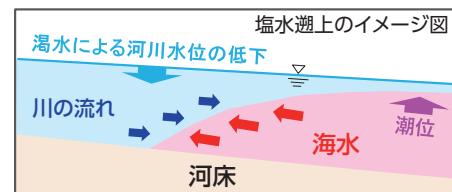


小牧浄水場 取水塔

### 節水へのご協力ありがとうございました

気候変動に伴う海面上昇や降雨量の減少により河川の水量が減少し、海水が河口付近から河川の上流に向かって遡る「塩水遡上」という現象が、最上川でも発生します。今年は渇水の影響で、塩水が小牧浄水場の取水塔まで到達し、浄水処理に支障をきました。併せて田沢川ダムの貯水率の低下もあり、7月27日から8月8日まで市民の皆さんに「節水の協力」を呼びかけました。

期間中は節水にご協力いただき、ありがとうございました。



庄内広域水道企業団の広域化事業に、山形県企業局朝日浄水場から本市への給水を可能とする連絡管整備事業があります。この事業は塩水遡上への根本的対策となるものです。

# 水道事業の統合に向けて協議を進めています

本市、鶴岡市および庄内町は、水道事業の統合に向けて取り組みを進めており、本年10月に企業団設立、令和8年4月に事業開始の予定です。

事業開始時に、水道料金に関するサービスや手続きに大きな変更はありません。これまでと変わらず水道をご使用いただけます。

今後も、統合に関する情報を広報紙やホームページ等で提供してまいります。

## 広域化する理由

### 水道事業を取り巻く現状

- ①人口減少等による料金収入の減少



料金収入の減少

- ②古くなった水道管等の更新費用の増加  
漏水・漏水の発生  
断水への懸念  
更新費用の増加



### 企業団が経営することで

- 組織統合による事務の効率化や、事業体を超えた施設の統廃合による運営コストの削減
- 国の交付金を活用した、水道管・施設の更新の加速
- 計画的な職員配置と、技術職員の育成、迅速かつ効率的な災害・危機管理対応による組織力の強化

### 水道料金の将来的な値上げ幅の抑制を目指します!

#### 広域化により…

##### 変わるとこ

- 水道の契約は庄内広域水道企業団に継承されます。
- 組織としての酒田市上下水道部はなくなります。

##### 変わらないとこ

- 下水道事業は酒田市の組織として残ります。
- 水道料金と下水道料金は、これまでと変わらず同一の請求書です。
- 事業所は酒田市末広町のままです。

### 令和4年度

庄内広域水道事業統合準備協議会の設置

### 令和5年度

水道事業統合に向けた計画の策定

### 令和6年度

統合基本協定の締結

### 令和7年度

企業団設立の手続き

### 令和8年度

企業団による事業開始

庄内広域水道用水供給事業  
県企業局との統合



水道事業の統合に向けて協議を進めています



## 令和6年度上下水道事業会計決算をお知らせします

### 水道事業

収益的収支における収入は**25億8,978万円**  
支出は**25億8,619万円**となり、  
純利益は**359万円**となりました。

#### ●主な事業



配水管改良工事



次亜貯蔵槽交換工事

#### POINT!

水道事業収益の約9割を占める水道料金は、人口減少に伴い年々減少していますが、健全な経営に努め、何とか純利益を確保し、老朽化した水道管の更新を進めて耐震化を図っています。



上下水道事業ともに、昨年7月25日からの大雨災害による特別損失が大きく利益を圧迫しました。

### 下水道事業

#### POINT!

昭和45年以降、市内全域に普及した下水道は、人口減少に伴い、稼働率が低下している施設の合理化が課題となっています。純利益は、汚水処理施設の統廃合や、安定的な事業運営のために使われています。



収益的収支における収入は**44億6,784万円**  
支出は**44億3,989万円**となり、  
純利益は**2,795万円**となりました。

#### ●主な事業



汚泥貯留槽補修工事



下水道管渠布設工事